

令和7年度アクションプラン事業別進捗表

<重点プロジェクト>

地域の稼ぐ力を高める観光地域づくりと滞在交流型観光プログラムの造成及び磨き上げを図り、持続可能な観光の国際基準（GSTC）※基準を活用しながら、釜石の強みを生かした国内外の交流の拡大を推進し、サステナブルツーリズムの実現を目指すため、新たに2つの重点プロジェクトを推進。 ※GSTC…Global Sustainable Tourism Council

(1) 稼ぐ力を高める戦略的な観光地域づくりと滞在交流型観光の推進

①DMOを中心とした観光地域づくりの推進

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	地域おこし協力隊事業	釜石市商工観光課	内閣府の「地域おこし協力隊」制度を活用し、観光地域づくりを推進するための人材確保及び育成を図る	令和3年度～ 令和6年度は、令和5年度に引き続き1名が観光連携コーディネーターとして従事。このほか、「ジオパーク推進員」を1名募集したが採用に至らなかった。令和7年度も引き続き募集を行う。 ・採用人数 1人
2	サステナブルツーリズム構想推進事業	釜石市商工観光課・(株)かまいしDMC	観光ニーズの的確な把握や伝統文化、歴史景観など様々な観光資源を組み合わせた一体的なブランドづくり、効果的な情報発信、プロモーションの展開などを行う。	令和3年度～ 令和6年度は、観光マーケティングにより明確化したターゲット層に向け、みちのく潮風トレイルを軸としたインバウンド向けSNS発信を開始した。 また、令和5年度に引き続き、釜石商工高等学校での観光ビジネスの講座提供など、地域人材の育成を目的とした観光教育も取り組んだ。さらに、釜石オープン・フィールド・ミュージアムの発展形である『釜石オープン・フィールド・カレッジ』事業において、市内中学生を対象とした職業体験会や、東京大学の先生による特別講座を実施した。 ・令和6年度観光教育の実施回数 24

②観光イベントの開催と誘客促進

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	四季彩イベント開催事業	(一社)釜石観光物産協会、釜石市商工観光課ほか	春まつり、釜石納涼花火、まんぶくフェス、釜石まつりなど、既存イベントのブラッシュアップを図りながら、JRや三陸鉄道などの公共交通機関と連携した広域的なイベントを開催し、市内外からの誘客促進を図る。	令和6年度は、3年に1度の釜石さくら祭りを4月に、釜石駅前を会場とした釜石冬まつりを1月に開催した。台風接近により納涼花火2024を中止、強風警報発令により釜石まつりの曳き船祭りを中止した。 令和7年度も引き続き、釜石納涼花火、釜石よいさ、まんぶくフェス、釜石まつりを開催する予定。まんぶくフェスは会場及び時期を変更して開催する。 ■令和6年度実績 ※（）内は令和5年度実績 ・釜石さくら祭り(4/28) 10,000人 ・春まつり(5/4) 5,000人(4,500人) ・釜石納涼花火2024(8/11) 中止(13,000人) ・まんぶくフェス(9/22～23) 2,800人(6,500人) ・釜石よいさ(9/15) 4,000人(4,500人) ・釜石まつり(10/18～10/20) 10,000人(6,000人) ・かまいし冬まつり(1/11～1/15) 2,700人(新規) 関連イベント ・釜石よいさ前夜祭(9/14) ・釜石絆の日(9/21・22) ・冬花火(1/11)
2	「釜石虎舞」全国発信事業	釜石市商工観光課・(一社)釜石観光物産協会	釜石の郷土芸能である「釜石虎舞」をPRし、県外団体の虎舞を誘致することで、にぎわいの創出、郷土芸能の継承及び後継者の育成を図る。	「第14回全国虎舞フェスティバル」を令和7年2月に開催。県外団体の「磯草虎舞保存会(仙仙沼市)」、大槌町の「大槌城山虎舞」のほか、市内8団体の出演により賑わいの創出を図ることができた。次回開催は令和8年度を予定。 ・第14回全国虎舞フェスティバル(2/9) 来場者数1,500人(前年度1,100人)
3	軽トラ市	釜石市水産農林課・(一社)釜石観光物産協会	釜石産農産物の販売を中心とした「かまいし軽トラ市」を市街中心部で定期的で開催することで生産者の所得増と地産地消の推進を図る。	令和6年度においても引き続き、農林水産業の高齢化や担い手不足などの課題解決を目指し、販売機会を設定することで販路拡大や担い手の確保・育成を推進するとともに、復興公営住宅等の多い市中心部で定期的な開催を行うことで、消費者と農林水産業者との交流の機会の創出、買い物の利便性の向上や賑わいの創出を図る。 市民ホールTETTO前広場で3回、うのすまい・トモス広場で1回、鶴住居復興スタジアムで1回、合計5回開催した。 ・実施日及び来場者数 (7/21) 269人、(8/18) 489人、(9/23) 2,000人、(10/13) 356人、(11/10) 423人

③地域ブランドの創出と物産振興

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	ふるさと便お届け事業	釜石市商工観光課	個人からの寄附に対し地場産品をふるさと便としてお届けし応援への謝意を表し、リピーターの獲得及び寄附者の増加を図るとともに、特産品の堀起こしによる六次産業化も促進し、当市の魅力を全国に発信するもの。	継続 令和6年度は、ポータルサイト(Amazon)の追加や新規返礼品の開拓など、寄附者サービスの向上に努めたものの、寄附額は約6億円と昨年度比約7割となった。 令和7年度は、ふるさと納税サイトの見直しやGCF・現地決済型ふるさと納税等の新たな寄附募集方法の検討・実施、返礼品の充実に取り組み、寄附額の増加を目指す。 ・令和5年度寄附額：883,808,100円 ・令和6年度寄附額：609,317,388円 ・令和7年度寄附額：800,000,000円(目標値)

④観光資源を活用した滞在交流型観光の創出

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	オープン・フィールド・ミュージアム事業	釜石市商工観光課・(株)かまいしDMC	自然資源、文化資源など既存の観光施設に加え、新たに整備した観光施設に見直しを加えながら、観光資源のネットワーク化を図っていくとともに多様な体験プログラムの提供、他産業や地域住民と一体となって旅行者を受け入れる「観光地域づくり」に取組み、持続可能な滞在交流型観光を推進していく。	継続 令和6年度は、釜石ならではの体験を通じて学びを得られるプログラムのほか、行政や市内事業者と共に地域課題の解決に取り組むプログラムを提供する企業研修を実施した。 新規プログラムについては、「環境」および「インバウンド」をキーワードに、釜石で取り組んでいるブルーカーボンを学べるプログラムや、みちのく潮風トレイルを起点としたインバウンド向け高付加価値プログラムを造成した。 また、「Meetup kamaishi2024」を開催し、地域住民を講師として、季節限定のプログラムも含め、多様な体験プログラムの提供を行った。 令和7年度は、主に「環境」をテーマとして、来訪者が地域づくりに関わっていると実感できるようなプログラムを造成する。 ・研修受入人数 224人 ・令和6年度新規体験プログラム造成数 3 ・Meetupkamaishi2024 プログラム数：12、参加者数：298人
2	橋野鉄鉱山周辺事業	文化財課世界遺産室	世界遺産関連施設の適切な管理運営を行うための調査を行うほか見学会や体験会を実施することで橋野鉄鉱山及びその周辺への誘客を図る。	継続 橋野高炉跡の発掘調査や史跡の整備を進め、施設の維持管理に務めた。また、橋野鉄鉱山見学会や発掘調査の公開など誘客を促進するための事業を実施。今後も適切な施設の維持管理に努め、誘客につなげる。 ・橋野高炉史跡整備事業(発掘調査、採掘場の測量)実施 調査現地説明会(9/28(土))25人 速報展(9/28~12/8)1614人 ・二番高炉ブロック見学路整備実施設計 ・みんなの橋野鉄鉱山(6/8(土))参加者23人 ・橋野鉄鉱山見学会(7/20(土))参加者5人

(2) 釜石の強みを生かした国内外の交流の拡大

①サステナブルツーリズムとインバウンドの推進

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	サステナブルツーリズム構想推進事業	釜石市商工観光課・(株)かまいしDMC	持続可能な観光地域づくりを推進するため、各種アンケートの実施及び分析を行うほか持続可能な観光の国際認証の取得及びその評価を分析し、サステナブルツーリズム構想推進事業に取り入れることで、持続可能な観光を推進していくとともに、国際認証の取得により観光価値を高め、外国人旅行者も安心して滞在できる環境整備を図っていく。	令和3年度～ 持続可能な観光を推進するため、観光客向け来訪調査のほか、市内事業者向け調査、住民意識調査を実施し、データに基づく観光施策を検討および実施した。 また、持続可能な観光に関する国際認証機関の一つであるグリーンデスティネーションズより、7年連続となる「世界の持続可能な観光地TOP100選」に選出されるほか、宿泊施設の国際認証「グリーンキー」を根浜キャンプ場が取得した。 ・「世界持続可能な観光地TOP100選」選出 ・観光入込調査の実施(春季・秋季) ・住民意識調査 ・市内観光関連事業者向けアンケート調査の実施

②ラグビーを核にしたスポーツツーリズムの推進

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	スポーツ合宿誘致推進事業	釜石市スポーツ推進課	鶴住居地域にあるスポーツ施設を拠点にスポーツ合宿や大規模イベント等の開催をするるとともに、地域全体で来訪者をもてなす体制を構築するなど、ラグビーのまちである当市の特徴を生かしたスポーツツーリズムの推進により交流人口の拡大や賑わいの創出を図る。	令和3年度～ 鶴住居復興スタジアム、市民体育館、釜石市球技場及び根浜海岸観光施設多目的広場を使用した合宿を誘致。市内に宿泊してもらうことで、合宿と併せて震災学習を体験やスポーツを通じた交流を促進した。今後も継続して誘致を図っていく。 ・合宿参加団体44団体 参加者数人2,554人※R6年度

<その他主要事業>

観光振興ビジョンを推進し、観光地域づくりと観光を通じた震災復興を実現するための主要な事業を、以下に掲げます。

No.	事業名	主体	内容	進捗状況
1	鉄づくり体験事業	釜石市文化財課	鉄づくり体験やふるさと歴史講座、鉄の検定を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図る。	継続 市内全中学校1年生を対象に、高炉を模した耐火レンガでつくるたたら製鉄体験を実施し、鉄のまちの歴史とモノづくりの大切さを学ぶ郷土学習を行った。また、学習の振り返りの場として鉄の検定を実施し、釜石の鉄に関するの知識を養う機会を創出した。鉄づくり体験事業は釜石の鉄の魅力を伝えると同時に人材育成の一環として、継続して取り組んでいく。 ・鉄づくり体験 7月～9月実施 参加者209人 ・鉄の検定 12月1日 参加者106人（小学生19人・中学生187人）
2	歴史はっけん事業	釜石市文化財課	地域に残る歴史・文化財の掘り起しを行い保存活用を図る。	継続 令和6年7月に釜石市文化財保存活用地域計画が、文化庁長官の認定を受け、冊子の作成を行った。 また、市内の古文書調査とそのデジタル化や、おさんぼアプリを使用した史跡巡りモデルコース作成のため文化財所在地データを作成し文化財マップ（デジタル）を作成し、文化財の保存と活用を進めた。今後も釜石市の歴史文化の掘り起しと継承に努める。 ○釜石市文化財保存活用地域計画 ・令和6年7月19日に文化庁長官による認定を受けた。 ○古文書調査 ・時期：令和6年4月～令和7年3月 ・場所：野田町、栗林町ほか ○釜石市文化財保存活用地域計画冊子刊行 ・刊行物：本編、参考資料編、概要版 ○おさんぼアプリ用モデルコース作成（通年） ・文化財所在地のデジタル化 ・指定文化財マップの作成（デジタルデータ）
3	三陸ジオパーク推進事業	釜石市商工観光課・三陸ジオパーク推進協議会ほか	「悠久の大地と海と共に生きる」をテーマとし、復興の進捗で三陸沿岸地域内での交流を活発化し、地域外との交流人口拡大を目標として掲げ、この活動が新たな「人のつながり」を作り出し、復興後の「ひとつの三陸」の実現を目指すもの。	継続 令和6年度は、三陸ジオパーク推進協議会において、みちのく潮風トレイル関係団体との連携協定を締結したことに加え、令和7年度を初年度する「三陸ジオパーク推進基本計画」及び「推進行動計画」を策定した。 当市においては、世界遺産課、文化振興課、かまいしDMC、観光物産協会、釜石観光ガイド会等と連携協力し、教育、イベント、PRなどのプログラムを実施した。 令和7年度は、新たに策定された上記計画に基づき、引き続き三陸ジオパーク推進協議会をはじめとする関係団体との連携により、当市サイトの保護・保全活動、みちのく潮風トレイルと連携したイベントや体験プログラムの提供を通じて、認知度の向上及び交流人口の拡大に努めていく。 ・根浜海岸清掃活動（7/8、8/23）参加者数：40人 ・海開きに係る三陸ジオパークブースの設置（7/13～14）参加者数：50人 ・根浜海岸シーカヤック等体験プログラム（7月～11月）参加者数：49人 ・三陸ジオパーク構成市町村長ジオツアー（南部エリア）（11/20）参加者数：38人 ・鶴住居トレイル&畜養ウニ剥き体験ウォーク（6/1）参加者：20人
4	民泊推進モデル事業	釜石市商工観光課	農漁業体験を含む民泊事業の受入態勢を強化するためコミュニティホスト事業等をモデル的に実施し横展開を図る。	継続 令和6年度は「御箱崎の宿」の宿泊利用者が減少した。「みちのく潮風トレイル」のハイカーの宿泊利用が増加傾向。インバウンド向けモニターツアーを3回実施し、外国人への提供プログラムへのアドバイス、ハラル対応の食提供の理解促進や観光情報の発信機会を達成した。令和7年度は誘客促進を図るため、PRを強化していく。 ・宿泊者数 209人（令和5年度：272人）
5	根浜海岸海遊び事業	釜石市商工観光課	震災により途絶えていた根浜海岸海水浴場の海開きを復活し地域との連携による新規イベントを実施することで、誘客を図る。	継続 海開きに合わせ、水上バイク体験乗船やシュノーケリング、SUPなどの様々な体験ができる「根浜海岸海遊び」を実施した。 令和7年度も根浜海岸海水浴場の開設に併せてイベントを実施し、根浜海岸及び観光施設への誘客と賑わい創出を図る。 ・根浜海岸海遊び（7/13～14）参加者数：延べ423人（300人）
6	かまいしプレミアム宿泊プラン応援事業	釜石市商工観光課・（株）かまいしDMC	物価高騰の影響を受ける宿泊事業者を支援し、地域内消費拡大を図るため、当市ならではの付加価値を加えた宿泊プランによる誘客を促進する。	新規 市内宿泊施設が参加し、旬の食材を活用した食や土産品の提供、飲食店や土産品店との連携し、当市ならではの付加価値を付けた宿泊プランの提供に対し、宿泊費の一部を助成した。令和7年度も引き続き実施する予定。 ・参加宿泊施設 15施設 ・キャンペーン利用宿泊者数 247人（令和7年2月17日～3月31日宿泊分）